

## 作物残留試験 圃場試験明細書

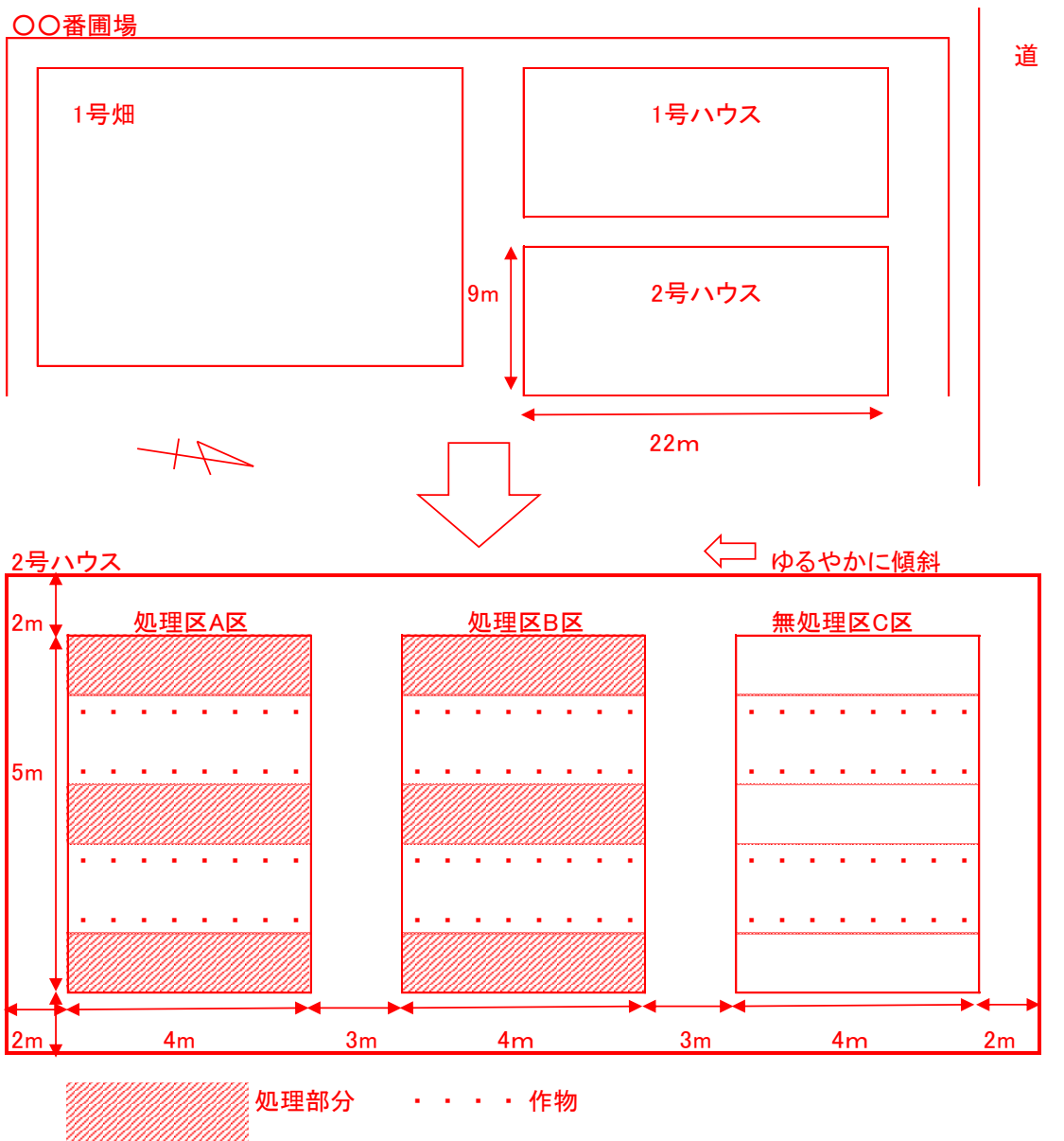
1. 分析対象物質 〇〇〇およびその代謝物
2. 被験物質  
(1) 名称 〇〇〇液剤  
(2) 有効成分名および含有率 〇〇〇 : 10%  
(3) ロット番号 ABC0123
3. 試験作物名 オクラ 品種名 アーリーファイブ
4. 圃場試験場所 〇〇県農業研究センター  
試験圃場名 〇〇番圃場〇〇号ハウス  
試験圃場所在地 〇〇県〇〇〇市〇〇〇町〇〇〇-〇〇
5. 試験担当者氏名 〇〇〇〇〇
6. 土性区分 壇壤土 (水田の場合) 減水深 — cm/日
7. 過去1年間に作付した作物および使用した農薬  
ピーマン 20〇〇年5月12日 △△△△△粒剤(菌)、□□□□□乳剤(虫)、  
20〇〇年7月2日 〇〇〇水和剤(虫)、 20〇〇年8月3日 ×××乳剤(虫)
8. 栽培方法  
露地・施設の別 施設栽培(マルチあり)  
(施設の場合)加温の有無: 無 (果樹の場合)有袋・無袋の別: —  
耕起 (方法) ロータリ耕 (時期) 20〇〇年〇月〇日  
整地・植代 (方法) ロータリ耕 (時期) 20〇〇年〇月〇日  
施肥条件 (肥料銘柄・成分含有率) (施肥量) (時期)  
△△△△化成(12-12-10) 30kg/10a 20〇〇年〇月〇日  
播種・定植等 (時期) 播種: 20〇〇年〇月〇日 定植: 20〇〇年〇月〇日  
栽植様式および畝立て方法 畦幅〇cm、畦間〇cm、高さ〇cm、一畦〇条(条間〇cm、株間〇cm)  
〇株/10a  
その他: 穴あきマルチ使用
9. 試験作物の生育経過(主な生育ステージおよび時期)  
開花始: 20〇〇年〇月〇日、収穫始: 20〇〇年〇月〇日

1 0. 被験物質以外に使用した農薬

- 20○○年○月○日： ○○○○○フロアブル 1000倍<100L>/10a、
- 20○○年○月○日： □□□□□顆粒水和剤 1000倍<100L>/10a、
- 20○○年○月○日： △△△△△乳剤 2000倍<100L>/10a

1 1. 試験区

- (1) 1 試験区の面積および本（株）数 1 区： 20㎡(4m×5m) ○○ 株/区
- (2) 施設の場合、面積・高さ・棟数 ビニールハウス198㎡・高さ3m・1棟
- (3) 試験区の配置図





## 1 2-2. 被験物質の処理方法詳細

区分 処理月日	処理時刻、 処理時の気象概況	処理時の 圃場の乾湿等	処理時の 作物の生育状況
20○○年○月○日	処理時刻：10:30 天候：晴れ 降雨：なし 風：なし	適湿	生育期 (草丈50cm)
20○○年○月○日	処理時刻：10:00 天候：くもり 降雨：なし 風：なし	適湿	生育期 (草丈80cm)
20○○年○月○日	処理時刻：10:00 天候：くもり 降雨：あり (15:00~21:00 10mm) 風：北・弱風	適湿	開花始期 (草丈100cm)

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理器具（ノズルの種類、散布圧、噴頭数）等
20○○年○月○日	炭酸ガス加圧式散布器（飛散防止カバー付きキリナシノズル、圧力0.2MPa、1頭口）を使用し、試験区面積相当量の処理液を作物かからないように畦間部分に均一に散布した。
20○○年○月○日	炭酸ガス加圧式散布器（飛散防止カバー付きキリナシノズル、圧力0.2MPa、1頭口）を使用し、試験区面積相当量の処理液を作物かからないように畦間部分に均一に散布した。
20○○年○月○日	炭酸ガス加圧式散布器（飛散防止カバー付きキリナシノズル、圧力0.2MPa、1頭口）を使用し、試験区面積相当量の処理液を作物かからないように畦間部分に均一に散布した。

その他処理に関する特記事項

なし

## 1 3. 試料採取

区分 採取日	試料の 送付部位	A区	B区	C区	D区	E区	F区	G区
		送付量	送付量	送付量	送付量	送付量	送付量	送付量
20○○年○月○日	果実	1.1kg	1.1kg	1.1kg				

区分 採取日	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付日	送付した試料について
20○○年○月○日	採取時刻：10:30、 天候：くもり	C→B→A	20○○年○月○日	1. 大きさ 通常 2. 熟度 通常
				1. 大きさ 2. 熟度
				1. 大きさ 2. 熟度
				1. 大きさ 2. 熟度
				1. 大きさ 2. 熟度

## (1) 試料採取方法

採取適期の果実をハサミを用いて採取し、コンテナに入れ、試料の調製梱包室まで運んだ。

## (2) 採取後の調製・梱包方法

病害虫の被害がある果実は取り除き、包装紙を敷いたダンボール箱に入れて梱包した。

## (3) 試料送付先

▲▲▲□□□□□□□□

## (4) 試料の輸送方法

輸送業者： ヤマト運輸

輸送条件： 冷蔵

試料到着指定日： 20○○年○月○日

## (5) 備考

なし

# 気 象 表

観測地点： 降水量 ○○○アメダス観測点、気温 自動温度記録計(○号ハウスに設置)

観測地点と圃場試験場所との距離： ○○○アメダス観測点との直線距離約 4 km

気温：平均気温 ( 1 時間毎、 外気温 ・  施設内) 降水量：日界 24 時

( 20○○ 年) 記号；○：薬剤処理日 △：試料採取日

月	6				7				8			
日	気温・ 施設内温度 (℃)	降水量 (mm)	薬剤処理 試料採取	試験区名	気温・ 施設内温度 (℃)	降水量 (mm)	薬剤処理 試料採取	試験区名	気温・ 施設内温度 (℃)	降水量 (mm)	薬剤処理 試料採取	試験区名
1					28.0	--			29.2	0.0		
2					27.8	--			28.6	4.5		
3					29.8	0.0			29.9	7.5		
4					29.0	4.5			31.1	0.0		
5					21.2	0.0			32.2	0.0		
6					23.1	0.0			31.9	--		
7					27.0	0.0			30.7	--		
8					26.8	0.0			29.1	0.0		
9					23.6	4.5			31.5	0.0		
10	25.7	--	定植		27.5	--			30.7	10.0	○	A
11	28.1	--			29.3	--			28.2	--		
12	26.6	0.0			27.9	--			28.4	--		
13	20.5	42.5			26.7	--	○	B	28.7	0.0		
14	27.1	--			27.7	69.0			27.7	0.0		
15	21.8	0.0			22.4	2.0			28.1	0.0		
16	23.1	1.0			25.1	--			29.5	25.0		
17	30.1	1.5			27.1	0.0			30.9	72.0		
18	30.9	--			29.1	0.0			28.0	32.5		
19	27.2	2.0			29.2	0.0			29.4	1.0		
20	28.9	11.0			27.0	0.5			28.2	21.0		
21	24.6	2.0			22.6	6.5			30.9	0.0		
22	23.3	0.5			22.3	0.0			26.5	108.5		
23	24.3	9.0			22.6	--			29.5	7.5		
24	24.4	2.5			24.7	--			28.9	0.0	△	A, B, C
25	25.5	3.0			26.1	0.0			30.5	--		
26	28.5	0.0			24.2	1.5			31.9	--		
27	26.6	--			25.4	--	○	A, B	24.1	1.0		
28	20.7	18.5			28.5	0.0			23.4	2.5		
29	23.4	0.0			30.2	--			28.6	1.5		
30	25.2	--			29.4	--			27.0	14.0		
31					29.7	0.0			27.9	--		







